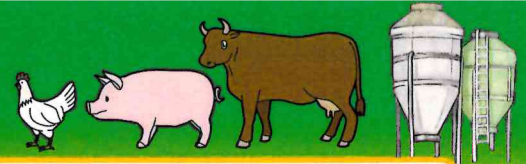


畜産生産者へのお願い



飼料輸送は安全面や輸送効率化等の課題も多く、ドライバーへの負担が大きいいため、これまでの輸送体制が維持できない恐れがあります。

「本県畜産の更なる生産振興」と「安全・安心・安定した家畜飼料輸送体制の構築」のため、課題解決に向けた取組をお願いします。



タンクの近くに木々があり危険



危険



タンクの老朽化



危険



バルク車への昇降(紙袋を担ぐ)

① 高所作業等の負担削減をご検討ください。

現在の飼料輸送体制を維持するためには、高所作業などによるドライバーの負担削減及び安全性の確保が求められています。

飼料タンク蓋の開閉装置や添加物の混合装置等を活用して、高所作業を減らす取組も始まっています。

また、添加物のバルク車投入などは附帯業務となり、運送業事業者との合意(契約)が無いものは依頼できませんのでご注意ください。

② 飼料タンク周辺の環境整備や安全対策はできていますか？

タンクの老朽化等により支柱やハシゴに腐食・劣化が無いか確認を行い、必要に応じて補修等をお願いします。

タンク周辺の雑木等の伐採による環境整備を実施し、ドライバーの安全確保にご協力をお願いします。

③ 直前発注や急な変更はしてませんか？

効率的な飼料の製造計画や配送スケジュールが組めなくなること、地域内の飼料輸送が逼迫する原因になります。

在庫量の把握、発注し忘れに注意し、余裕を持った発注にご協力をお願いします。

④ 発注頻度を減らせませんか？

「まとまった量で注文する」、「多めの在庫を確保する」、「納品日に余裕を持たせる」等の取組が、輸送コストの低減につながります。

可能な限り効率的に配送できるよう、ご協力をお願いします。